

2014-3-3 イヌの精巣・精巣上体

安全性 生澤充隆

提出機関 : Washington State University

患 畜 : イヌ 4歳 ♂ (未去勢)

病 歴 : 数カ月にわたり体重が減少

硬い結節が精巣に触知

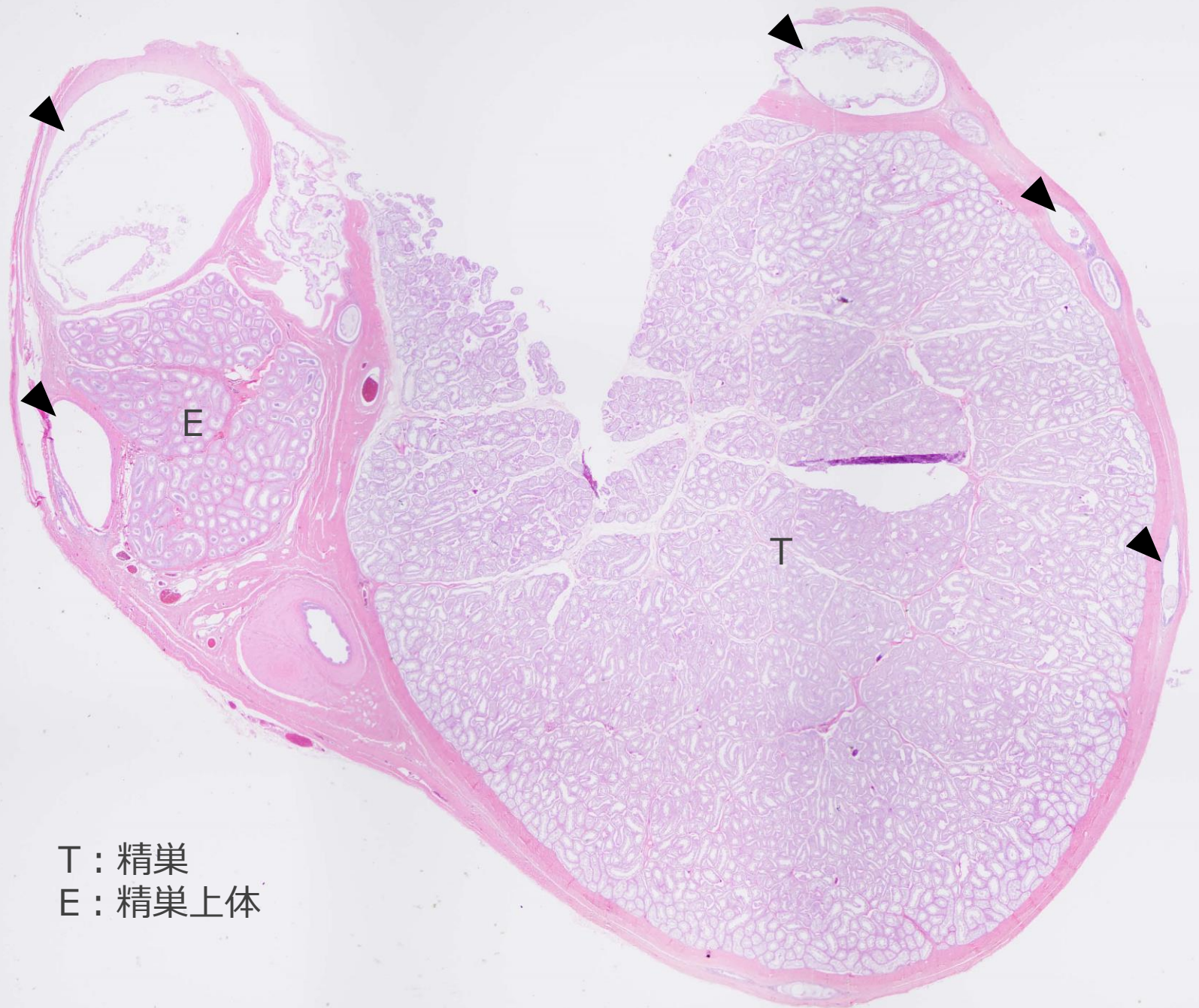
病原検索 : 未実施

肉眼所見

- 精巣、精巣上体は白色物によって肥厚
- 切り出し時、嚢胞が精巣鞘膜に多数認められた

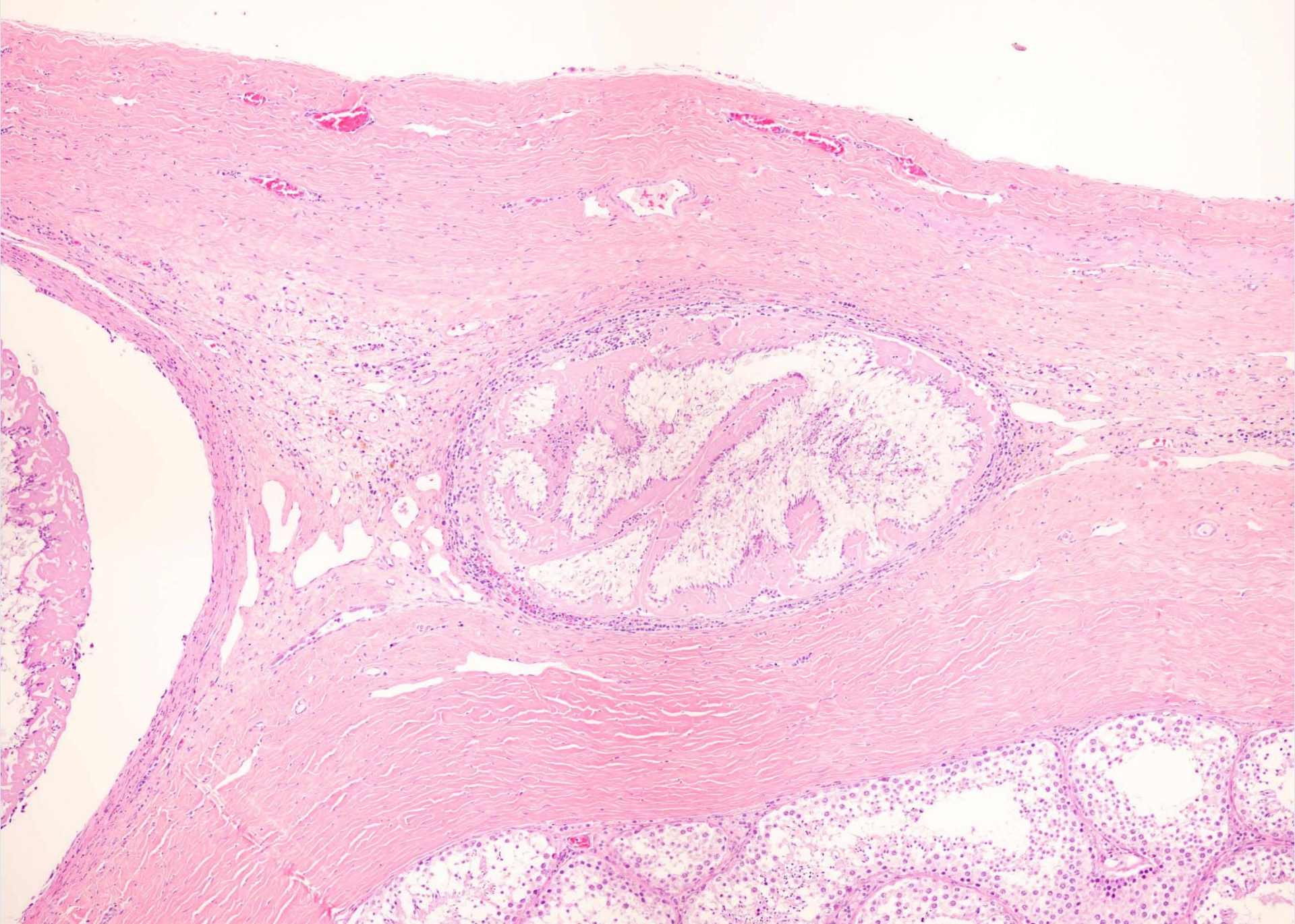


精巣鞘膜・白膜に嚢胞が認められる

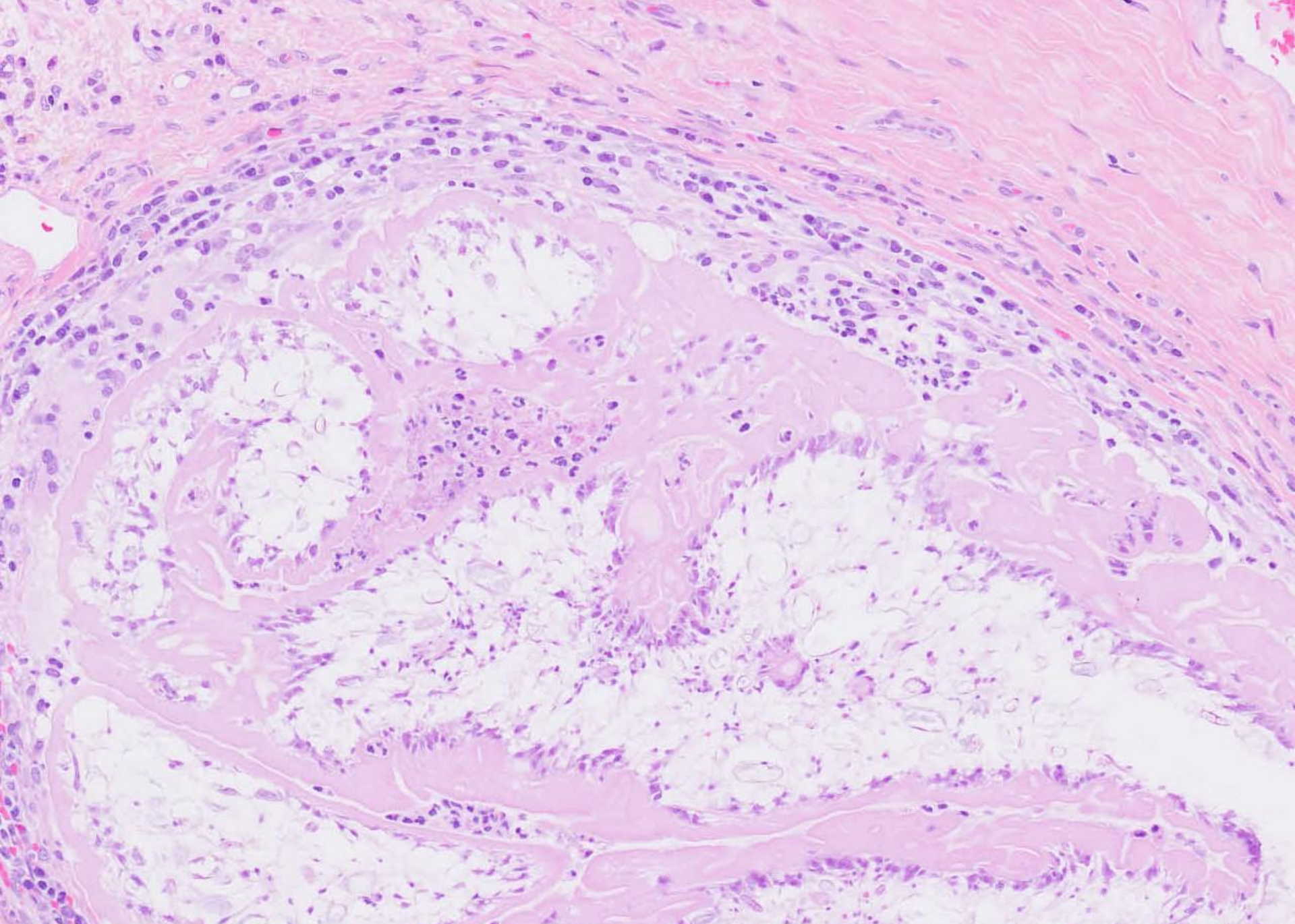


T : 精巣
E : 精巣上体

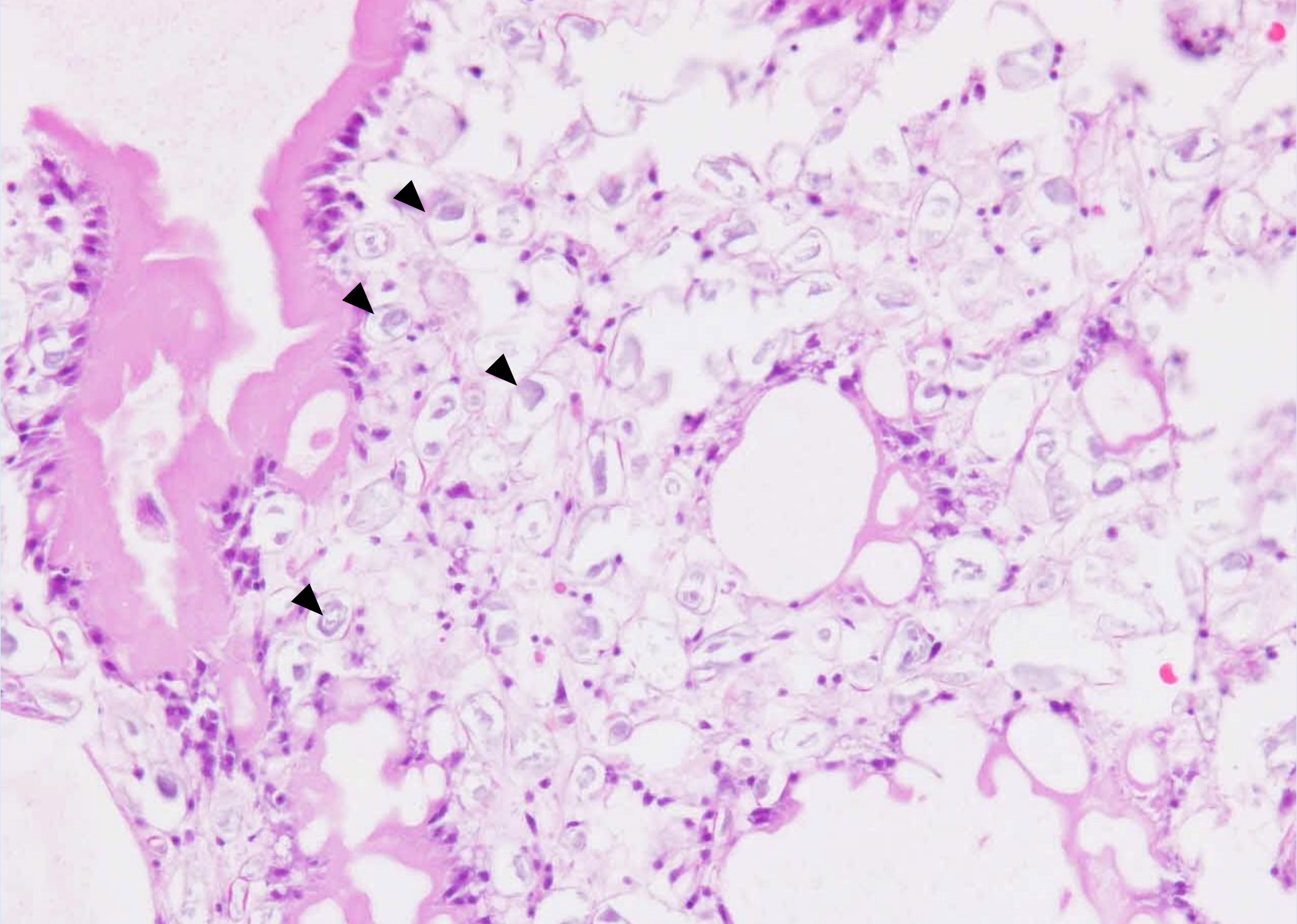
ルーペ像：精巣鞘膜・白膜における嚢胞（矢頭）



精巣鞘膜にみられた寄生虫 虫体



虫体周囲の肉芽腫性炎



虫体には 厚いクチクラ、石灰小体（矢頭）が認められる

所見まとめ

- 病変は両精巣に認められた
- 精巣漿膜・白膜
 - ・ 寄生虫虫体、肉芽腫性炎症
- 寄生虫虫体
 - ・ 消化管無し、厚いクチクラ、石灰小体

提出者の診断

辜丸周囲炎、精巣上体炎、精索炎、リンパ組織球性および化膿性肉芽腫性、重度、両側性および多巣性、慢性。
病変内に条虫の幼虫を伴う (*Mesocestoides* sp.が疑われる)

Periorchitis, epididymitis and funiculitis, lymphohistiocytic and pyogranulomatous, severe, bilateral and multifocal, chronic with intralesional cestode larvae (most likely *Mesocestoides* sp.).

病態

犬の腹膜幼虫条虫症

Canine peritoneal larval cestodiasis.

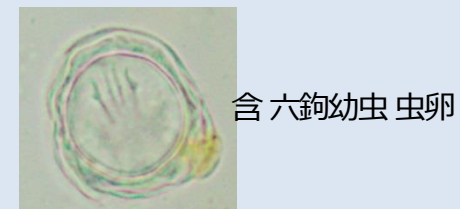
JPCの診断

精巣、精巣鞘膜：条虫の幼虫、多発。軽度肉芽腫性
辜丸周囲炎を伴う

Testes, vaginal tunic: Larval cestodes, multiple, with mild granulomatous periorchitis.

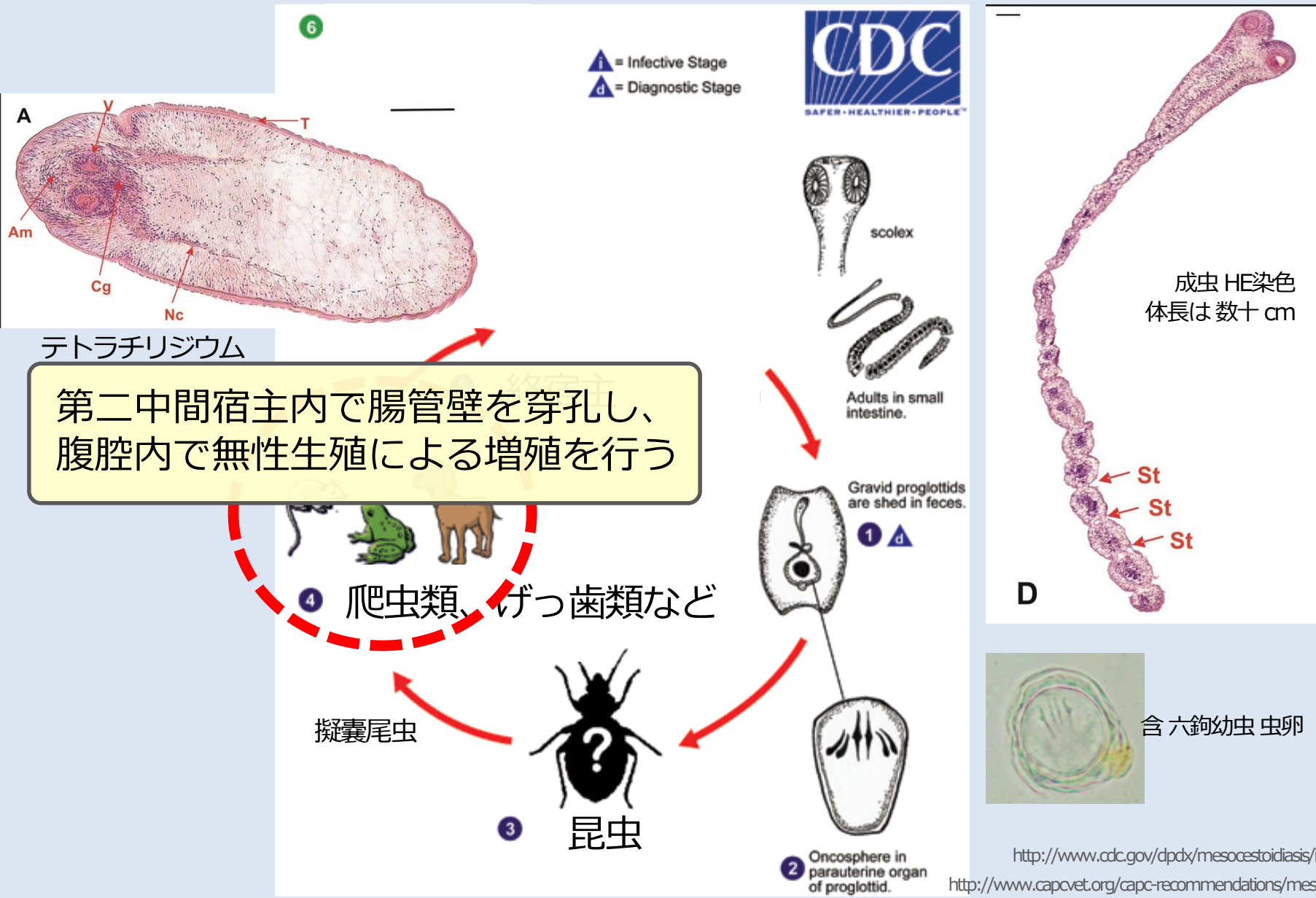
提出者のコメント

メソセストイデス属 *Mesocestoides* spp.



提出者のコメント

メソセストイデス属 *Mesocestoides* spp.



テトラチリジウム

第二中間宿主内で腸管壁を穿孔し、
腹腔内で無性生殖による増殖を行う

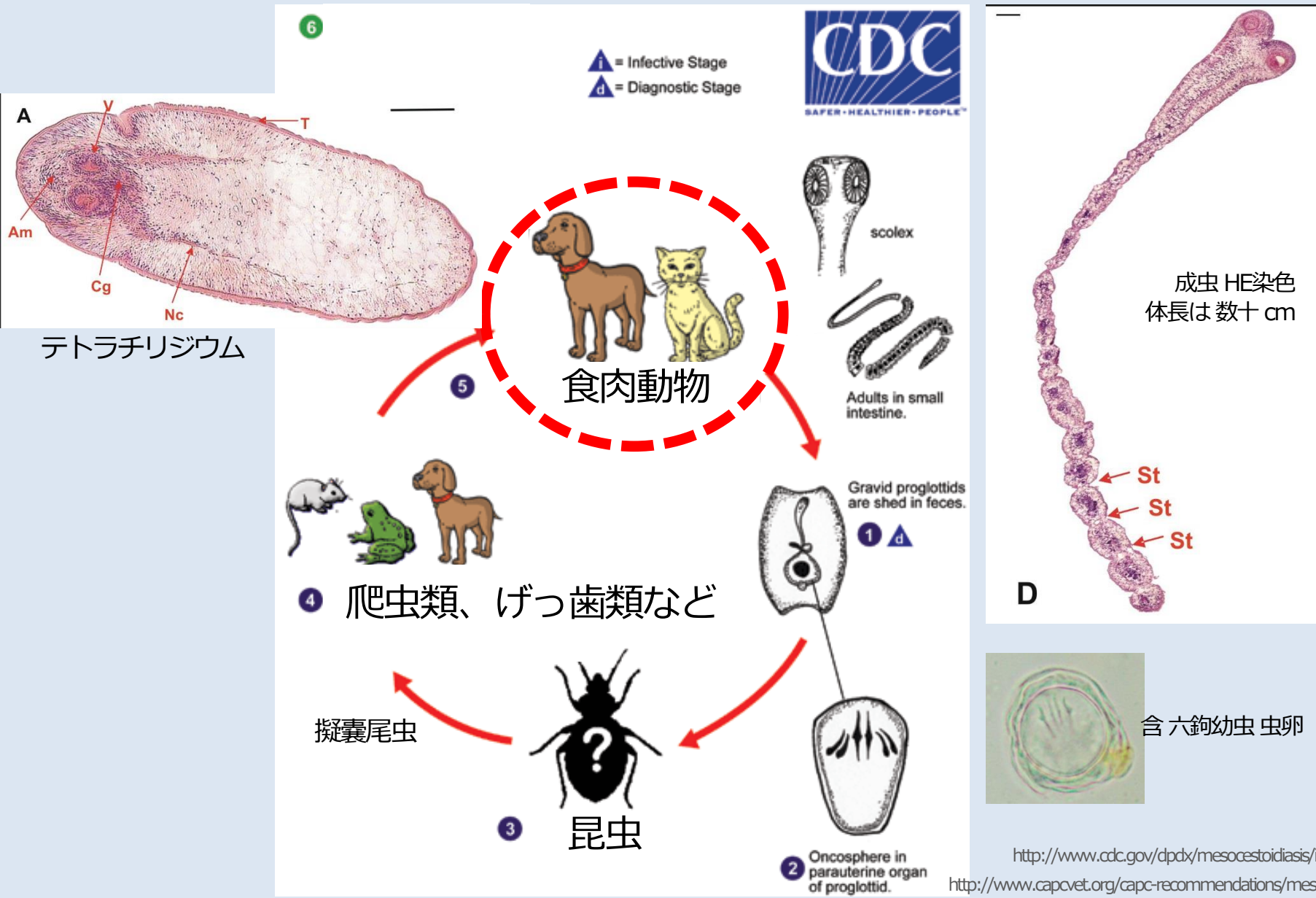
4 爬虫類、げっ歯類など

擬嚢尾虫

3 昆虫

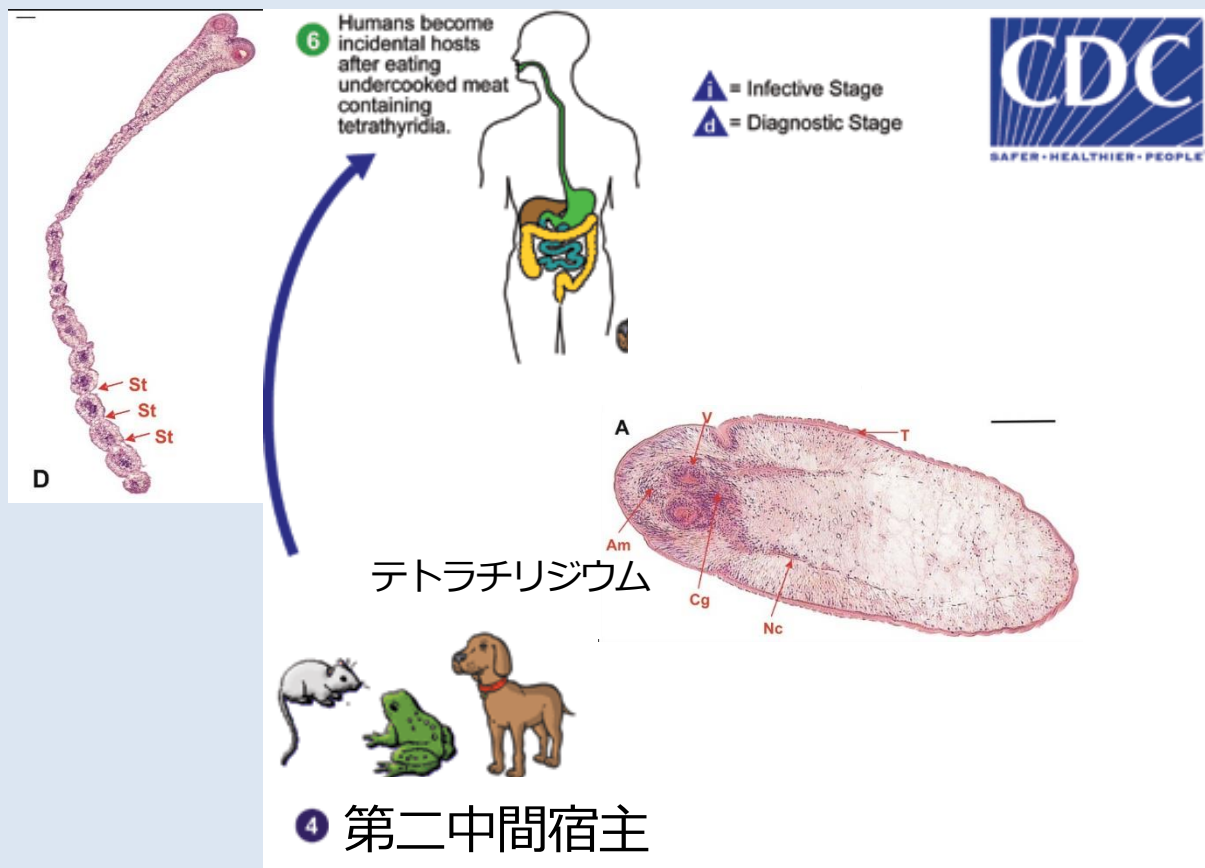
提出者のコメント

メソセストイデス属 *Mesocestoides* spp.



提出者のコメント

ヒトのメソセストイデス感染症



- ヒトは本来の終宿主ではないが、テトラチリジウムを摂取、腸管内で成虫になる
- 下痢・腹痛などの症状

提出者のコメント

Canine peritoneal larval cestodiasis (イヌ腹膜幼虫条虫症)

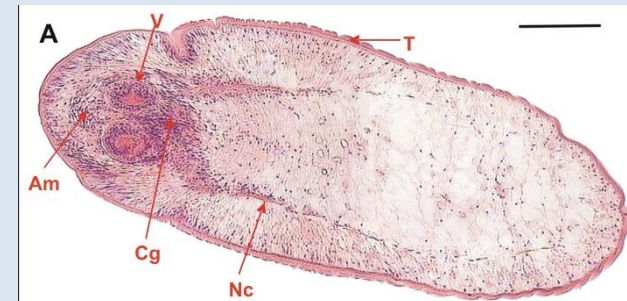
- *Mesocestoides* spp.の テトラチリジウム の腹腔内迷入に起因
- 迷入した テトラチリジウム が無性生殖により増殖することもある
- 組織像は肉芽腫性腹膜炎
- 病変が実質臓器や胸腔に至ることもある

(JPC の VSP Case 584 で 肺のMesocestoidiasis)

- 感染経路については不明。可能性は以下のとおり

第二中間宿主の捕食後に テトラチリジウム が腸管を穿孔して迷入？

第一中間宿主を捕食してしまった犬を第二中間宿主としている？



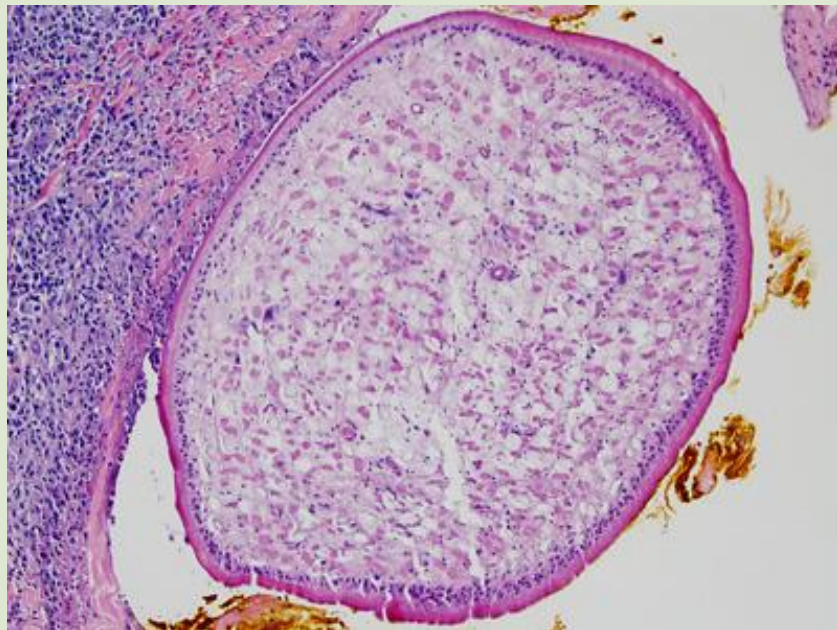
集会でのコメント

イヌの腹膜に幼虫の感染がみられる条虫

擬葉条虫目

Spirometra spp. (plerocercoidosis)

Sparganum proliferum (sparganosis)

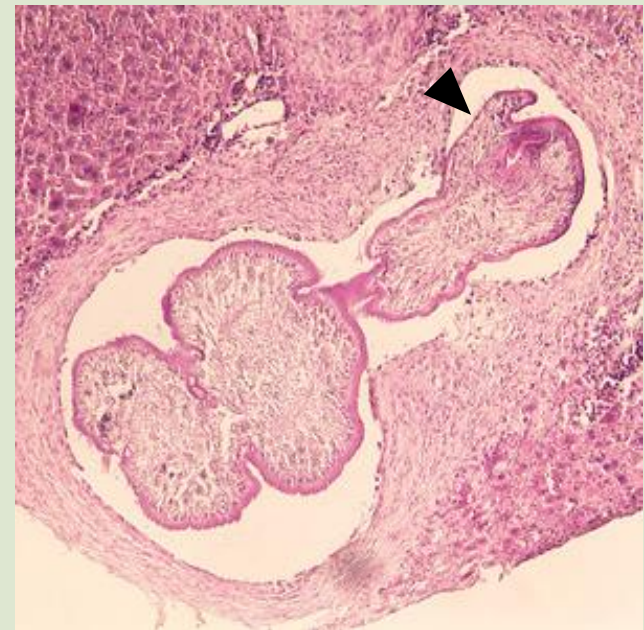


頭節・吸盤なし

円葉条虫目

Mesocestoides spp. (tetrahyridiosis)

Pentastomidae (pentastomiasis)



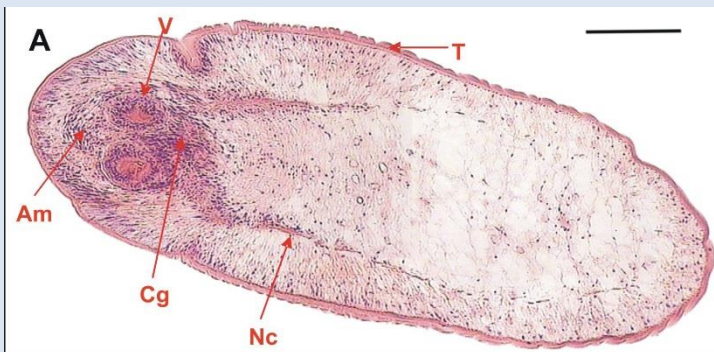
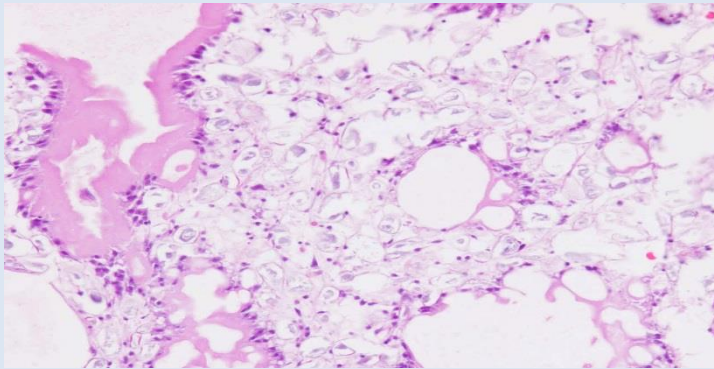
頭節・吸盤あり (矢頭)

- ・ 幼虫の鑑別には 頭節、吸盤 の有無の観察が必要

集会でのコメント

条虫の組織学的特徴

- ・ **石灰小体** (最も重要な所見)
- ・ 厚いクチクラ
- ・ 体腔がない (条虫、吸虫の特徴)
- ・ 消化管がない (吸虫は消化管がある)



日本におけるメソセストイデス属 *Mesocestoides* spp.

- 日本では 有線条虫 (*Mesocestoides litteratus*) に加え、
M. paucitesticu、*M. vogae* (syn. *M. corti*) が報告されている
- イヌ、ネコ、タヌキ、キツネなどから検出 (1993年)
- イヌ腹膜幼虫条虫症 は 2013年に本邦での初発事例が報告
- ヒトのメソセストイデス症は ヘビの生食に起因すると考えられる

家畜におけるメソセストイデス属 *Mesocestoides* spp.

- 調べた限りではウシ、ブタ、ヒツジでの報告なし